

年間授業計画

高等学校令和7年度（3・4学年用）

教科 芸術

科目 書道Ⅰ

教科 芸術

科目 書道Ⅰ

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3・4 学年

使用教科書：（光村図書出版 書Ⅰ

）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】

芸術に関する項目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能や知識を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅰ

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	書の伝統と文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項 (2)教材・ICT等	表現			鑑賞	評価規準	該当に○			配 当 時 数
			漢 仮	漢	仮			知	思	態	
1 学 期	・書へのいざない ・書写から書道へ ・書体の変遷を知る ・臨書とは何か ・用具、用材の特徴と表現効果	(0) 書を通じて、自己の内面を記述しよう (1) 書はどのような芸術か考える ・漢字の書体と変遷を知る ・各書体について、字形や特徴を理解する (2) 用具・用材 ・碑と拓本 ・臨書から創作へ					【知】 用具・用材の特徴と表現効果との関わりを理解している。書体・書風を理解している。 【思】 書の良さ・美しさを味わって捉えている。 【主】 書の良さや美しさを感じ、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	7
	・古典に基づく学習 ・さまざまな楷書古典を知る ・楷書の特徴を理解し、書風の相違を感得する	(1) 隋と唐の文化について知る ・楷書の特徴を理解し、楷書古典の書風の相違を理解する (2) 孔子廟堂碑・九成宮醴泉銘など					【知】 楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりを理解している。 【思】 楷書の古典の価値や良さ、美しさを捉えている。 【主】 主体的に幅広い、表現の学習活動に取り組んでいる。	○	○	○	9
	・古典に基づく学習 ・さまざまな楷書古典を知る ・楷書の特徴を理解し、書風の相違を感得する	(1) 楷書の特徴を理解し、楷書古典の書風の相違を理解する (2) 雁塔聖教序・顔氏家廟碑など					【知】 楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりを理解している。 【思】 楷書の古典の価値や良さ、美しさを捉えている。 【主】 主体的に幅広い、表現の学習活動に取り組んでいる。	○	○	○	9
	・行書 ・行書の特徴を理解する ・さまざまな行書の古典を知る ・王羲之の書道史上の重要性を理解する ・顔真卿の思いと表現を理解する ・日本の書の芽生えを知る	(1) 行書の表現の多様性にふれ、行書の特徴を理解し、行書古典の書風の相違を理解する (2) 集王聖教序・争座位文稿・蘭亭序・風信帖など					【知】 行書の古典の書体や書風と用筆・運筆について理解している。 【思】 行書の古典の価値とその根拠について考え、書の良さや美しさを捉えている。 【主】 行書の臨書を通してその書美を学んでいる。	○	○	○	7

[illegible]